

1. 活動報告（事務局 記）

9月21日（土）作業はビオトープ内より、そば畑まで丸太橋をかける計画のため、近くの山より杉の木を切り出しました。女性の方々は、遊歩道の保守点検？でした。

10月5日（土）今日の作業です、たんぼのよけぢを作り、レンゲの種をまきました。来年の春にはレンゲの花が咲くといいですね。

10月8日（火）県民活動（今井会長、藤井会員参加）

10月10日（木）西原会員による宇部ロータリクラブ例会でビオトープの講和を実施されました。今回初めてパネルとCDによる説明会となりました。CD製作委員の皆様ご苦労さまでした。（講演西原会員、パネラー原田）

10月12日（土）宇部市温暖化防止（今井会長、原副会長参加）

10月17日（木）見初小学校（今井会長、藤村会員 ご案内）

10月18日（金）宇部市民活動センター話し合い（田村会員参加）

10月19日（土）今日はあいにくの雨模様、しかし稲刈り前に雨も上がり中止かと思われた、稲刈りも沢山あつまった人達によって、無事に行うことが出来ました。次は、年末の餅つきが楽しみです、ほんと美味しいんですね。

2. 今後の予定（事務局 記）

10月25日 全国湖沼水質保全の会が見学。

10月27日 一園会（宇部地区一級造園施工管理士の会）にて“里山ビオトープ二俣瀬”の講演（講師 西原一誠会員）

11月2日 稲こぎと蕎麦刈り

11月 9日 草刈作業（宇部西高、宇部工高、厚狭高約15名ボランティア参加）

11月16日 作業 椎茸原木伐採、そば粉挽き

11月17日 紹介まで 二俣瀬校区文化祭 於二俣瀬市民センター、小学校

11月 未明 柳井川、田布施川協議会ご一行約20名御見学予定

3. ビオトープ関連（ビオトープで観察される動植物）（原田 記）

ビオトープ内ではありませんが、須賀河内川の童滝、寄り合い滝付近は車地有志が昔居たカジカかえるを色々な方法で何年も放流して今年は居ついたようです。来年の五月ごろから夕方なき始めると思われます。自然が復元され(従来のように農薬が減ったこともあって)色々な生き物が戻ってきているようです。蛭、メダカ、沼えびは典型的に昔以上に復元されたとおもいます。

4. ビオトープ関連（連載ビオトープ近辺の案内）

“珍説フタマタセ その三、中島”（車地 吉富 壮介 記）

中島、その面積は知らない。あらし五反歩ぐらいだったか、型は今の河川敷公園その俣と思えばいい。耕して畑または水田にしたのは三反ばかり、あとは竹やぶ。島の外周どこをみても石垣らしいものはなかった。伐らずにおいた竹や木が、洪水から島を護っていた。家は無い、橋もない、道もない。人も牛も歩いて川を渡り、耕作していた。耕作の歴史はわからない。車地にたった一つある碑には、昭和三年、地元の用水路から「水が余ったときは分けていただく」とあるが、実際に水を引く工事したのは、昭和10年をすぎた頃だった。土手を削り、川底を掘り、やぶを抜け、総延長100M余り、ヒューム管（径20cm）をつないだ。試運転(?)は上々、水は勢いよく島へ揚がった。年が明け、感激の田植えをすませたトタン、大雨、大水になり、水は止まった。川底は洗われ、ヒューム管はムキ出し、一部は折損していた。すぐ補修、補強したが、次の洪水で再び流され、送水は断念された。全て私財だったと聞く。500M上流には、歴史に残る「駒の頭」があるところから、第二の駒の頭を狙ったものだろうが、たかが駒の頭、されど駒の頭、偉業の偉大さに思いしらされたと思う。しかし中島の水田化はあきらめず、こんどは反対の木田から電気を引き、ポンプを据えての揚水に替えた。これはうまくいったが、これとて度重なる洪水に、流されたり埋まったりで、結局お手上げになった。最後のカケが「釣り橋」。キンマの前から釣り橋で渡る構想。橋なら夜も行けるし、洪水でも渡られる。でも、一(いち)かバチかの覚悟。コンクリートで支柱が建った、高さ10M、島にも建てた。二つの支柱は狭い川をはさんで向きあい、次の工事を待った。が、そこまでだった。私財にも限りがあり、そうまでして作りたいコメでもない...と、涙をのんだ。人の口には戸がたたん「杓(おうこ)を折った」とも「勇気ある撤退」とも。昭和50年、中島いや「二俣瀬」が消えるとき、突っ立っていた支柱も引き倒され、河川敷へ埋められた。虎は死して皮を残し、中島は死して河川敷を遺した。

1 キンマ 吉村金蔵さんのあだ名で現吉村商店(木田秋葉)創設者 先月号にも紹介済み

2 おうこ 木でつくった稲束を両方に差込人間が肩に乗せ運ぶ棒 先が尖がっていた

5 会員の声

里山の行くすえ 吉本 正 記

今年は、稲を天日乾燥をし、おいしい米にしようと、先日、山に「はぜ」の竹を切りに行った。20～30年前に松喰虫にやられた30～40cmの赤松残かいが、あちこちに朽ちて横たわり、山は今も無惨な姿である。『ふご』をかついで松葉を取りに行った頃の山の姿と何と変わったものだと思った。妻にあの辺りと、向こうの上の方に松茸がよく出ていたと話しても、手入れをされ、松茸が出ていた頃の山の姿は想像できないようである。小さい頃祖母が、『貧な親類に行くより秋の山へ行け』といったことをふと思い出した。秋の山は、人間や動物に豊かな贈り物をしてきていたのである。振り返ってみると、“笹栗”を拾い、“あけび”を食べ、“しめじ”、“くろこう”、松茸を取り、途中の道では、“秋ぐみ”、“しど”、“むけさがり”の実を食べたことをふと思い出した。里山を中心に、雑草を刈り、枯木を集め、雑木を切り薪にしていた。これが人間と動植物が共生するための山の手入れだったと思う。孟宗竹が広がり、松喰虫が松を枯らし、里山はどうなるだろうか。

「ふご」の意味 稲わらで作った朶や、朶殻、すくど(松葉) 厩肥などを運ぶ入れ物。

“くろこう” なば(きのこ)の一種

“しど” “むけさがり” 小さな木になる濃い意紫色と薄い紫色した実

6 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

9月18日 やってきました。すごいですね!! 感激しています。岩岡景子

9月21日 初めて来ました。市のワークショップです。面白かったのでまた来ます。柏野、麻生、尾山、清友、武永、ほか1名(記入不明)

9月22日 初めて来ました。風が涼しくて、いつの間にか秋・・・虫の声と鳥のさえずり・・・いいですねえ。時間も、のお～んびり過ぎてゆく メリー

9月22日 今日10時30分頃、ここに来ました。来てすぐたんぼ(池)にはいりました。深いところ浅い所があって楽しかったです。(註 絵が書いてありましたが省略させていただきました。) 小学4年ともみ

9月22日 たんぼで遊んだよ!とても楽しかった 4歳しょうた (まさき 小2年)

9月22日 8ヶ月のお腹の赤ちゃんと5歳の息子とパパとママで着ました。メダカとりに夢中になっている3人の子供たちを途中で見かけて、とても心が温まりました。なかなか見られない光景になってきています。今度はバケツと長靴を持参してめだか取りを楽しみたいと思います。 宇部市芝中町 嶋 テンタ&ファミリー

9月23日 おじいちゃん、おばあちゃん2人の息子、夫婦で来ました。日頃はファミコン、TVゲームばかりの子供に運動をさせようと、山に落ちていたクリを拾った子は「自然の栗をひろった」と大喜びでした。自然でないクリはどんなのかな? 小野田市柿山西 HFファミリー

9月25日 初めて来ました。今度は子供と来たいと思います。

10月3日 標識や案内は良く整備されています。童滝から二俣滝の間は小川が良く見えて心地よく散歩できる 宇部市上宇部宮地町 佐竹

10月8日 楽しく遊ばせていただきました。有難う御座いました 宇部市ふるさとコンパニオンの会

10月14日 子供たち4人(小6～4才)を連れて厚南下から遊びに来ました。久しぶりに自分の子供の時代を思い出しました。

(小6お子さんのドラえものの絵、デジモンの絵 小2お子さんロボットの絵、4才のお子さんの怪獣?の絵のほか小のお子さんの楽しかったよまた来るかもね、さようならと言うコメントもありました)

* 子供さん絵がたくさん記載されてとてもユーモラスなので転載できればいいのですが、時間がかかりますので省略させていただきます、会員の皆様は現地のノートをご覧ください。

7 会よりの連絡事項

- (1) 今後の行事計画のように年末に向かって行司が重なります。蕎麦脱穀、乾燥、粉挽き、蕎麦うち試食。やもち米の臼挽き、餅つき。丸木橋の丸太架け。また椎茸原木斬りおよび切り出し作業。その他竹炭製作の話もあります。奮ってご参加ください。

8 編集後記

- (1) 大きな行事である稲刈りを留守をしまして申し訳なく思います。留守中にもあちらこちらからお客さんがおいで戴いて、会員の方にご案内いただきましたことお礼を申し上げます。さらに見学したい旨のアクセスを2～3頂いております。メールともども電話連絡網の会員の方にはご連絡を差し上げていますがご案内を買って出で頂きたいとお伝えいたします。
- (2) この会報も17号を迎えましたが、そろそろネタが切れるのではないかと心配しています。編集委員皆で手分けして会員の投稿を募っていますし、会員外の寄稿も御願ひしていますので会員の方も熟知されご協力を御願ひします。

(原田 満洲夫 記)